

帯広市の現況と将来予測等について

平成30年10月
帯広市 都市建設部 都市計画課

1 帯広市の現況と将来予測等 <第1～2回会議での整理内容>

1. 人口減少と人口密度の低下

本市の人口は、H12（2000年）の173,030人をピークに減少局面
人口密度が徐々に下がっていくと想定される

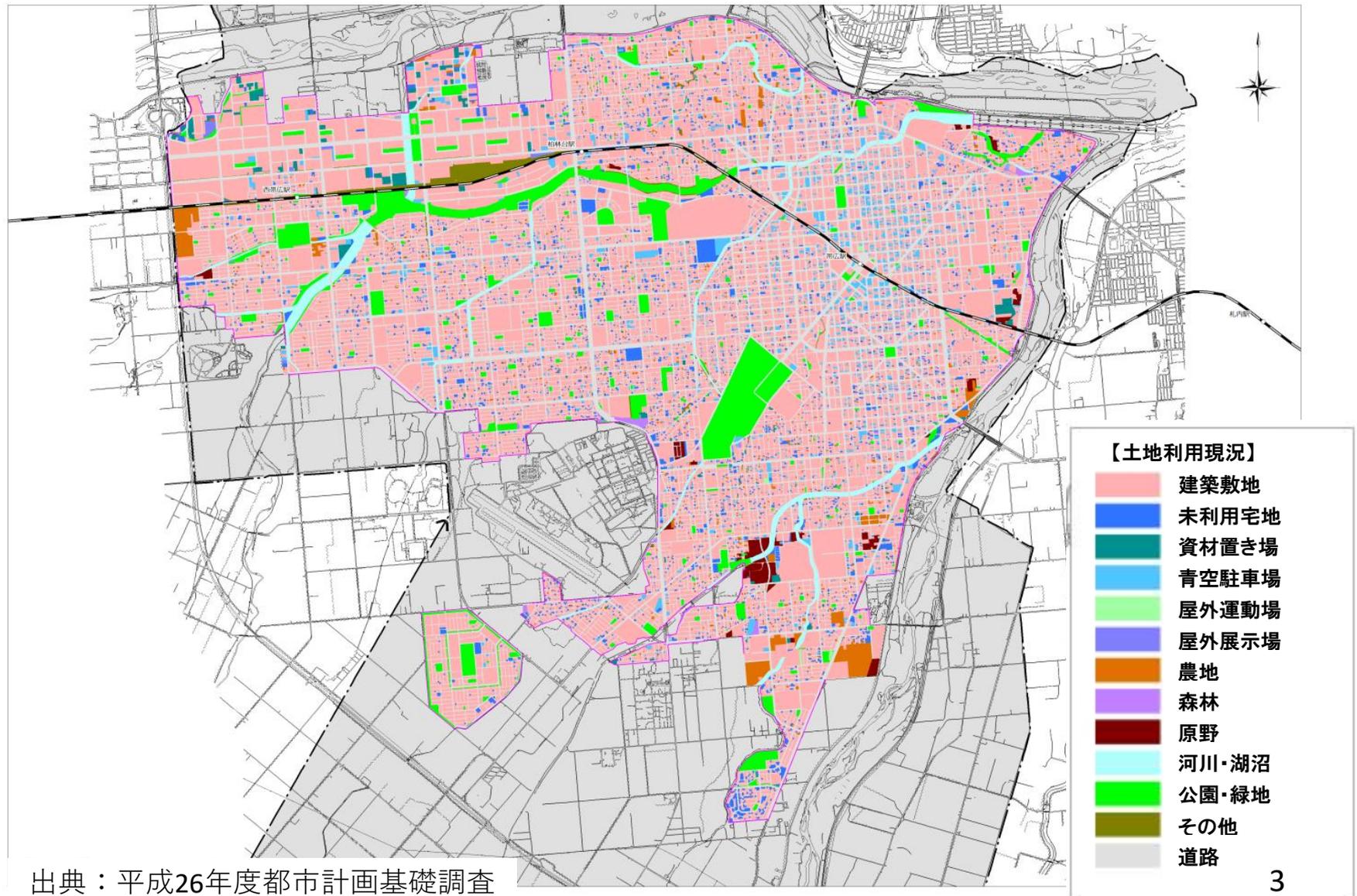
2. 高齢化と自動車への過度な依存

車の運転に困難を抱える高齢者等が増加
自動車への依存度が高い市民が多い傾向

3. 都市施設等の老朽化

インフラ等が老朽化し、今後、多額の改修・更新費用が必要
市内建物の約37%が新耐震基準以前（S56（1981年）以前）の建築

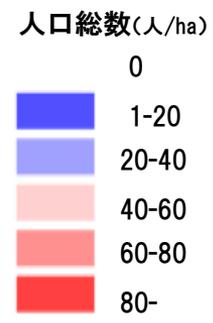
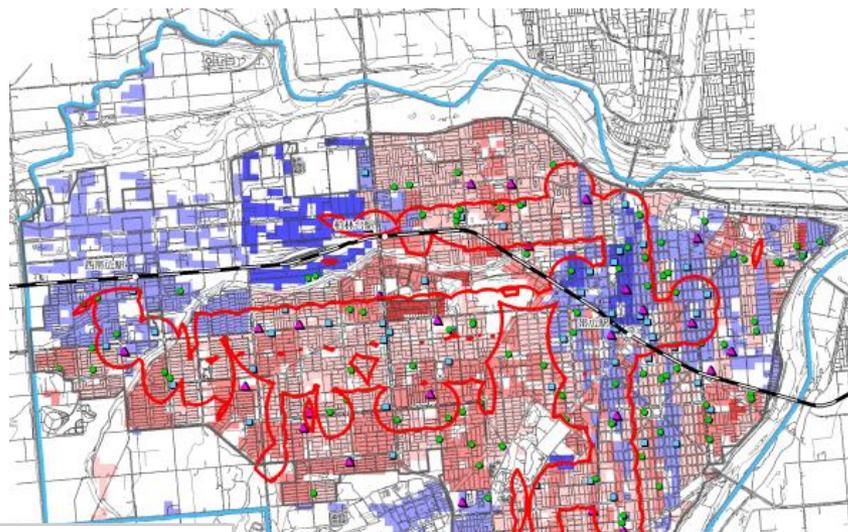
2 帯広市の現況と将来予測等 <人口減少と人口密度の低下>



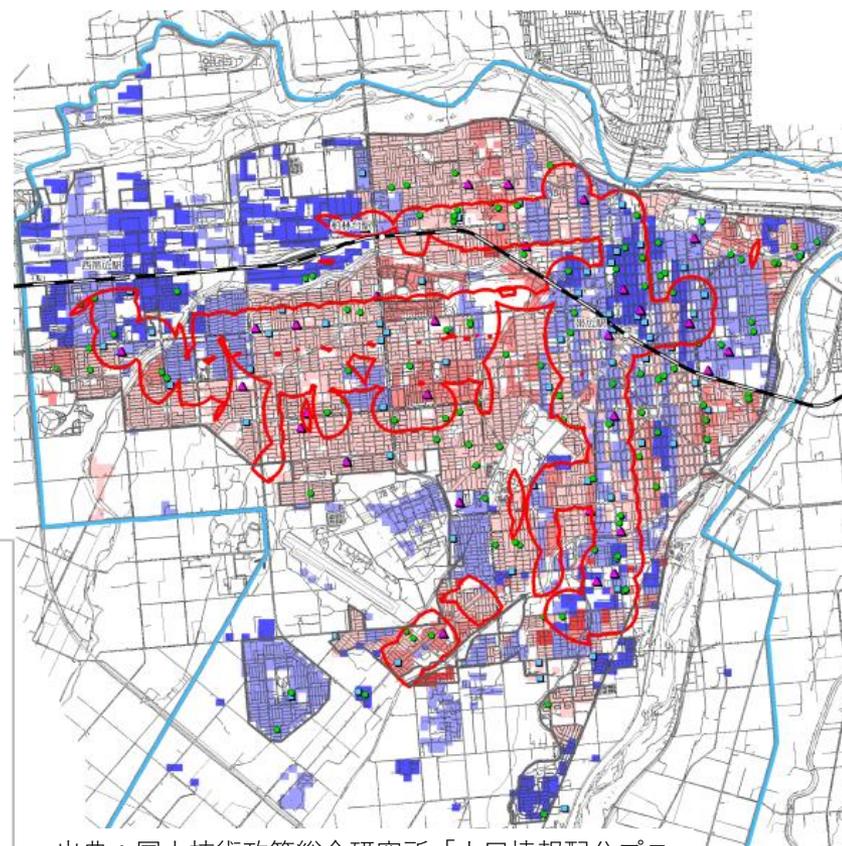
2 帯広市の現況と将来予測等 <人口減少と人口密度の低下>

○ 日常生活サービス（医療・福祉・食品スーパー・基幹的公共交通）徒歩圏の人口密度が徐々に低下していく

< H27 >



< H57 >

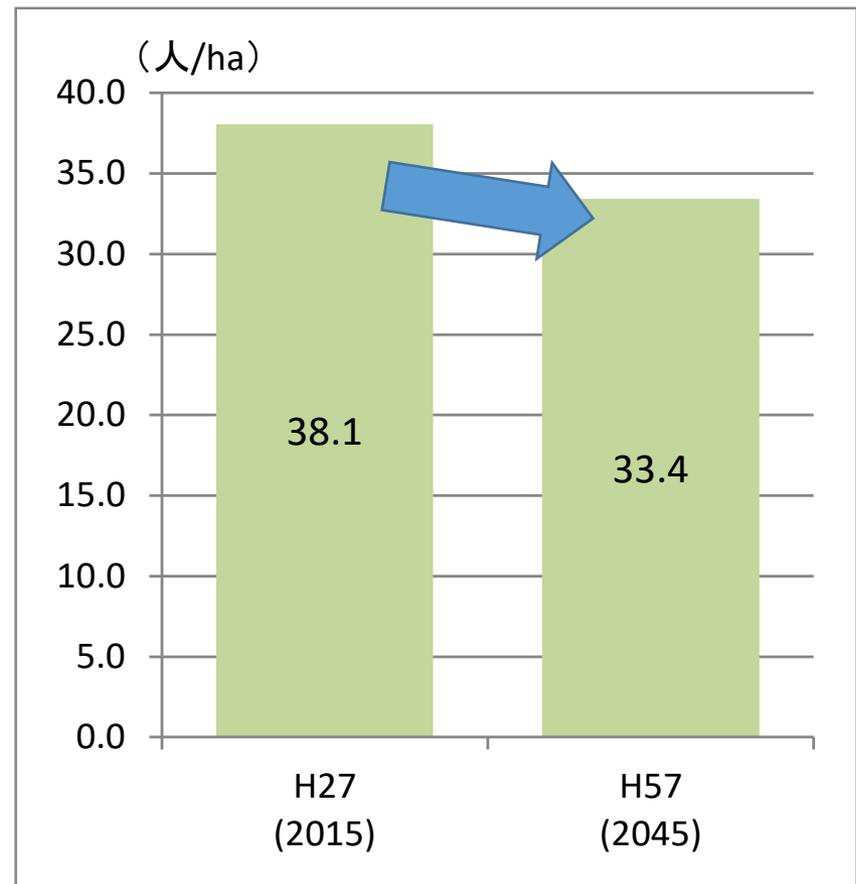
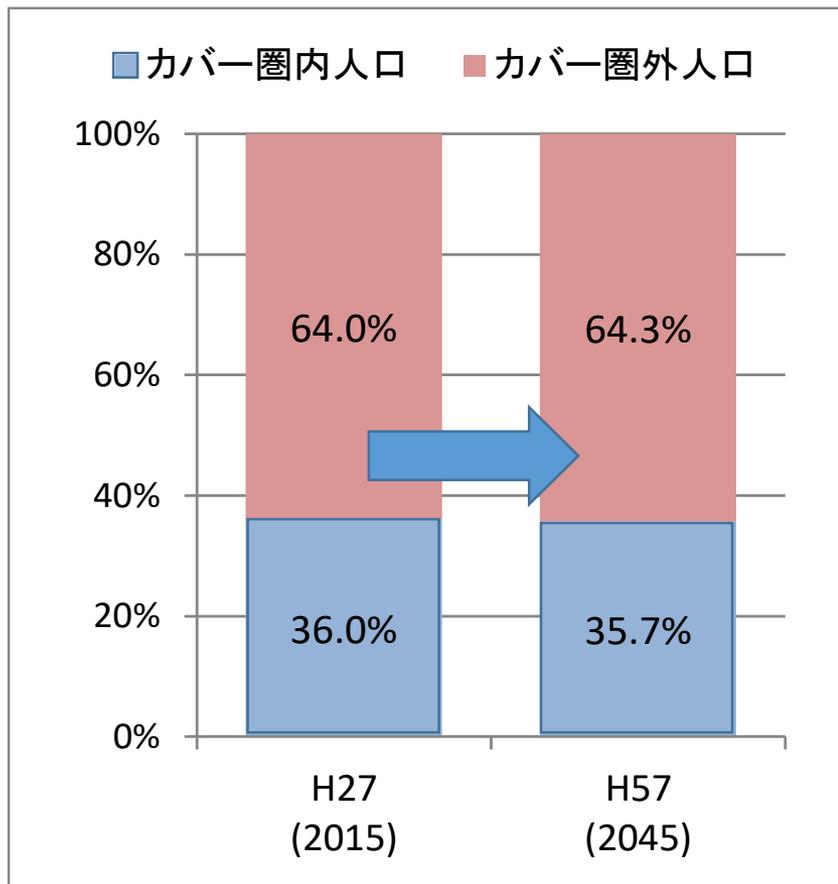


▲日常生活サービス徒歩圏カバー状況

出典：国土技術政策総合研究所「人口情報配分プログラム」を用いた計算結果を加工して作成
※H57（2045）における各施設の立地については
H27（2015）の立地状況をそのまま適用

2 帯広市の現況と将来予測等 <人口減少と人口密度の低下>

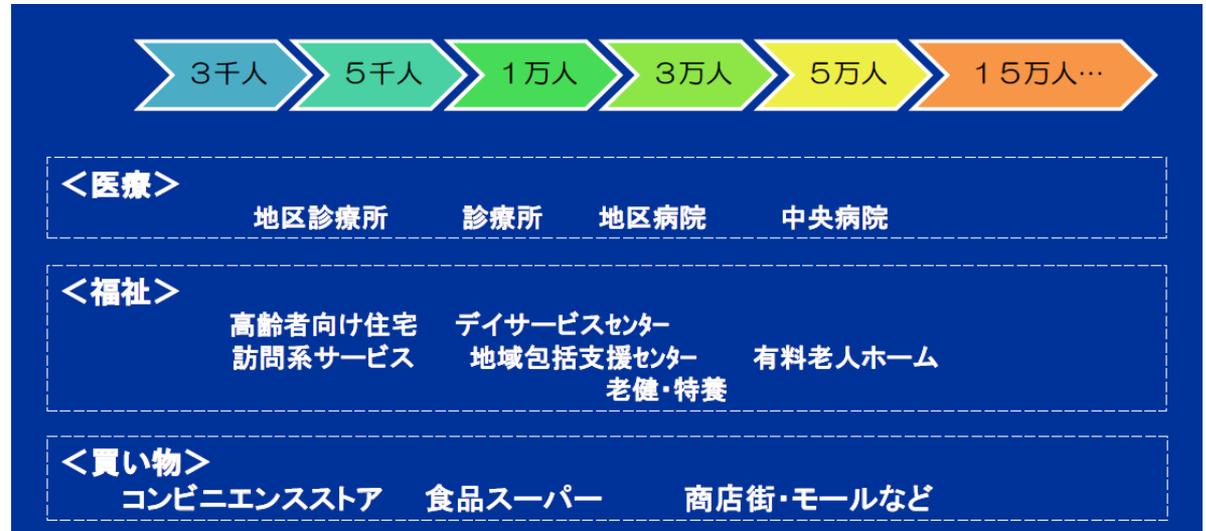
- 施設が維持されると仮定した場合は、徒歩圏人口カバー率は変化しない
- 施設周辺の人口密度は若干低下



▲日常生活サービス徒歩圏の「人口カバー率」と「カバー圏人口密度」

2 帯広市の現況と将来予測等 <人口減少と人口密度の低下>

- 施設が立地し、維持されるためには、周辺に一定の人口が必要
- 施設周辺の周辺人口は全体的に減少傾向



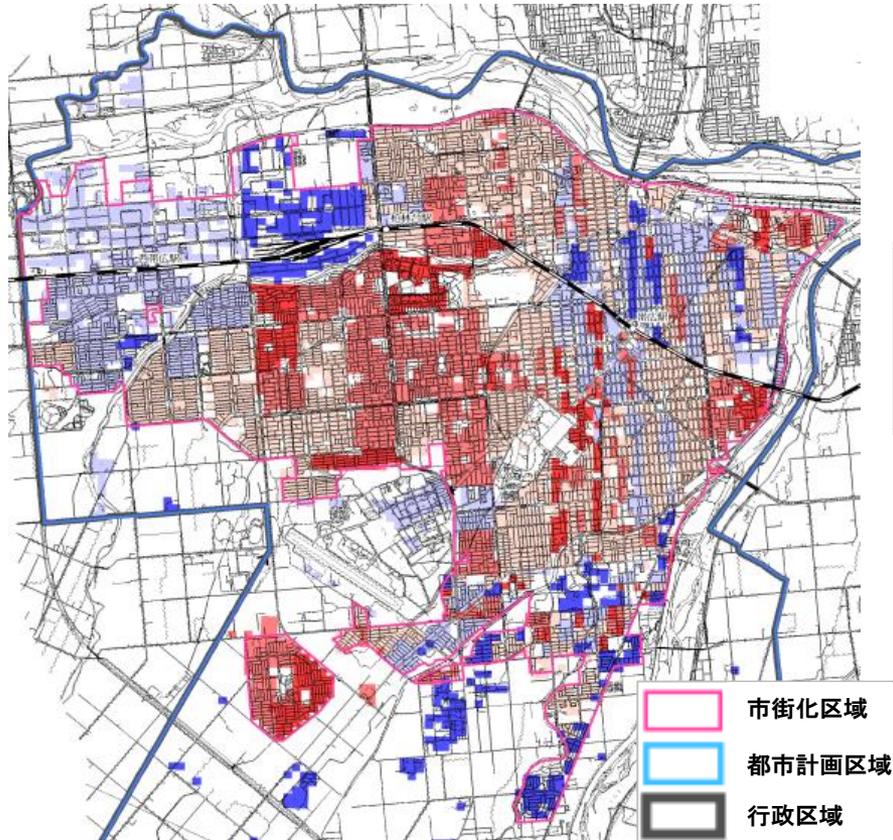
※人口規模と機能の対応は概ねの規模のイメージであり、具体的には条件等により差異が生じる

No	施設区分	H27 800m圏域人口	H57 800m圏域人口	圏域人口 増減	圏域人口 増減率
1	医療	6,730	5,858	-872	-13.0%
2	福祉 (高齢者)	6,879 (2,753)	6,061 (3,639)	-818 (886)	-11.9% (32.2%)
3	買い物 /スーパー	6,498	5,711	-787	-12.1%
4	買い物 /コンビニ	6,764	5,963	-801	-11.8%

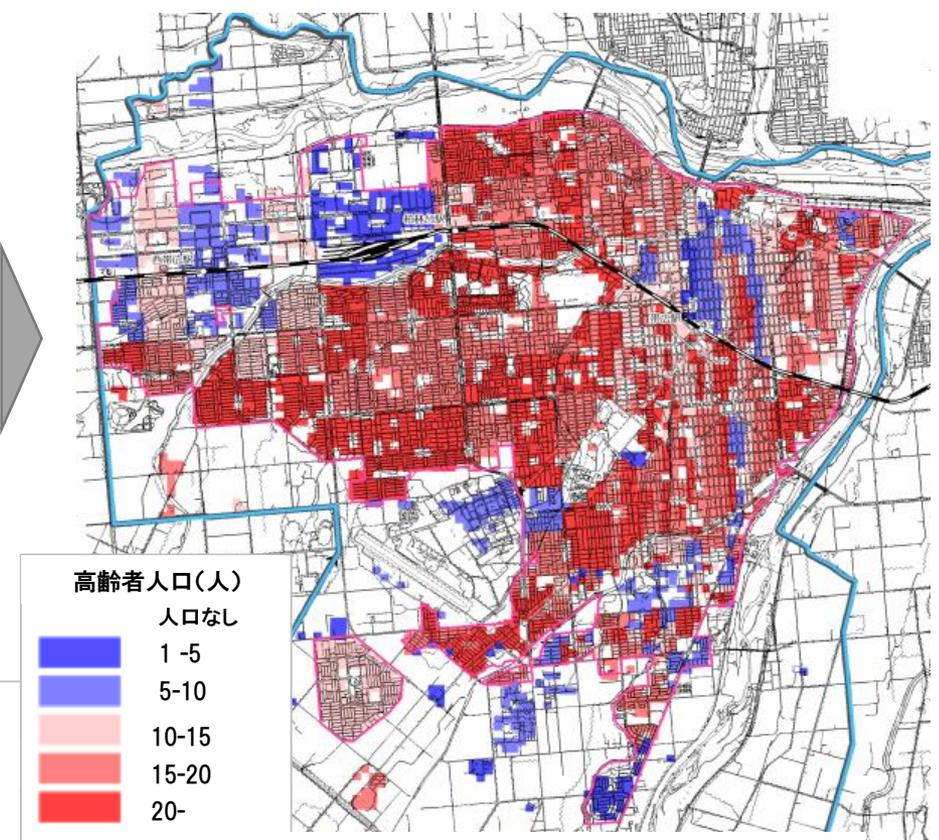
3 帯広市の現況と将来予測等 <高齢化と自動車への過度な依存>

○ 市内全域で高齢化が進行する見込み

< H27 >



< H57 >



▲ 65歳以上人口密度 (100mメッシュ)

出典：国土技術政策総合研究所「人口情報配分プログラム」を用いた計算結果を加工して作成
※H57 (2045) における各施設の立地については
H27 (2015) の立地状況をそのまま適用

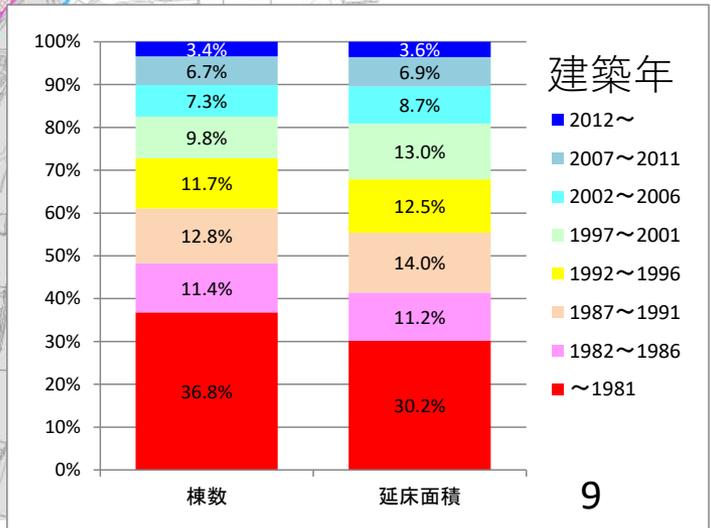
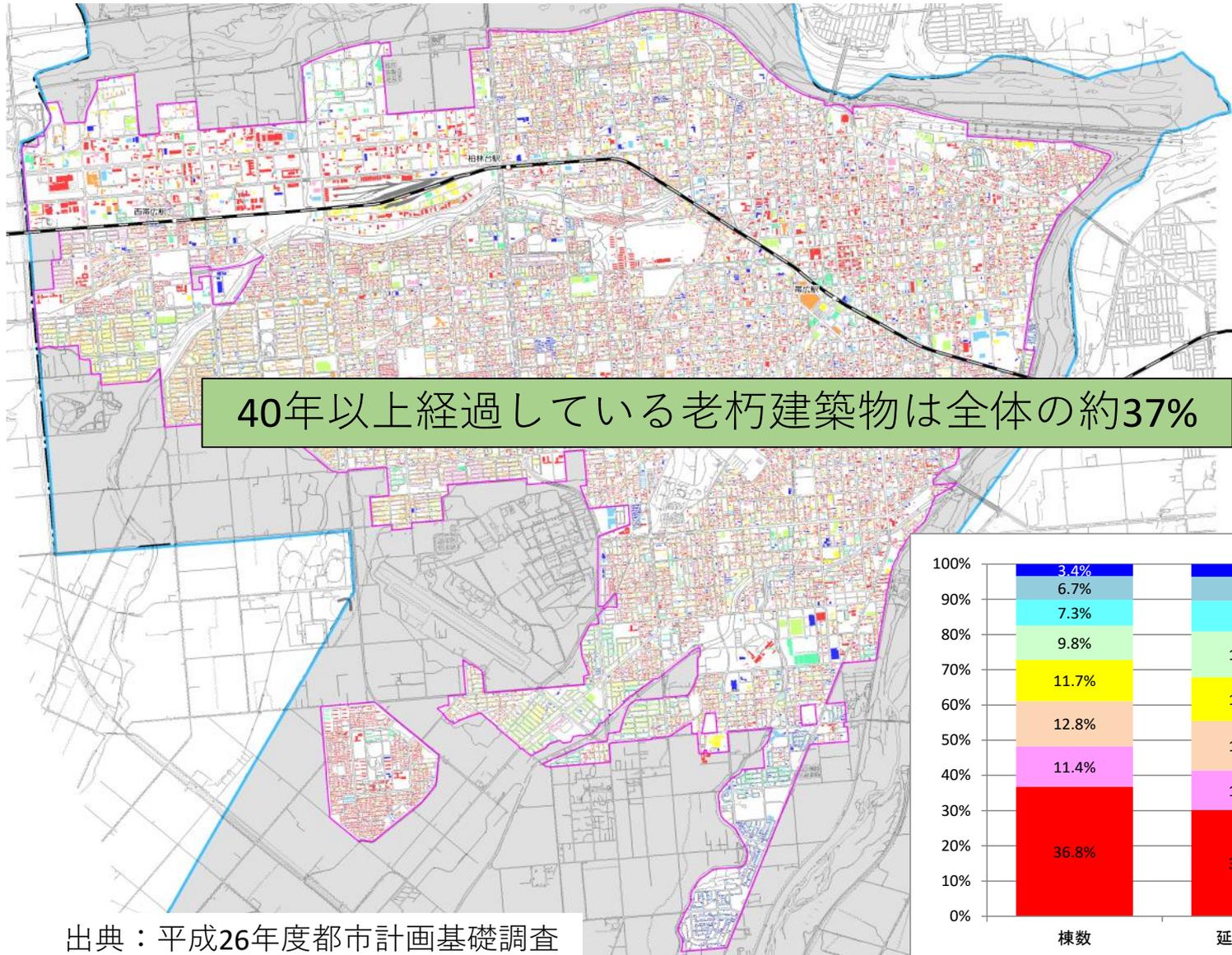
4 帯広市の現況と将来予測等 <都市施設等の老朽化>

- 市内の建物を建築年別にみると、新耐震基準以前（S56（1981）年以前）の建物の割合が約37%、延床面積割合では約30%となっている

区分	棟数		延床面積	
		割合		割合
H24(2012)～	1,830	3.4%	399,218	3.6%
H19(2007)～H23(2011)	3,605	6.7%	769,074	6.9%
H14(2002)～H18(2006)	3,946	7.3%	972,140	8.7%
H9(1997)～H13(2001)	5,267	9.8%	1,462,932	13.0%
H4(1992)～H8(1996)	6,280	11.7%	1,398,358	12.5%
S62(1987)～H3(1991)	6,906	12.8%	1,571,586	14.0%
S57(1982)～S61(1986)	6,150	11.4%	1,252,530	11.2%
～S56(1981)	19,802	36.8%	3,392,195	30.2%
合計	53,786	100.0%	11,218,033	100.0%

▲ 建築年別建物現況

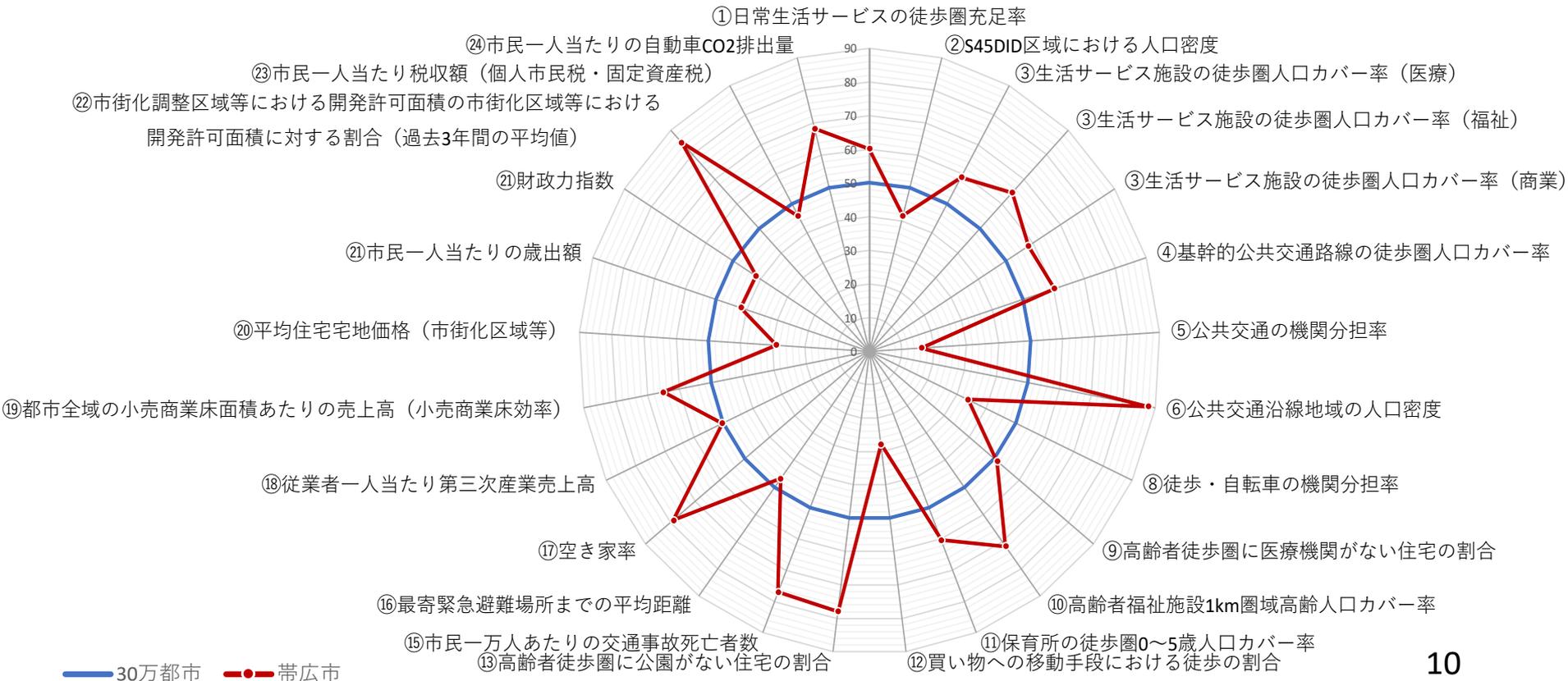
4 帯広市の現況と将来予測等 <都市施設等の老朽化>



出典：平成26年度都市計画基礎調査

5 帯広市の現況と将来予測等 <都市構造評価から抽出される現況>

- 買い物などのサービス施設やバス停留所が徒歩圏内にある市民の割合は、類似都市を上回っている
- 全国平均に比べて空き家率が低い
- 市街化区域外での開発行為は相対的に少ない



6 論点等について

- 帯広市ではサービス施設の適切な配置や公共交通の利便性など、効率的な都市づくりや行政運営が一定程度実現している
- 以下のような現況について、現行のマスタープランで対応できているかなどを検証しながら、今後、課題や論点について整理する

【現況】

1. 人口減少と人口密度の低下
2. 高齢化と自動車への過度な依存
3. 都市施設等の老朽化

【想定される論点等】

- ▶ 空家等の増加による景観や環境の悪化
- ▶ 移動に制約のある市民の増加
- ▶ 公共交通の利用者減少
- ▶ 施設等の更新時期の集中

…など、今後整理

分野別方針の検討

- ① 土地利用の方針
(住宅系、商業系、工業系 等)
- ② 都市施設等の方針
(交通施設、緑地 等)
- ③ 都市環境の方針
(都市景観 等)

7 スケジュール

①6/4 (月)

○ 概要説明 ○ 市民アンケート検討 ○ 主要課題の検討

6月中旬～下旬：市民アンケート

②8/28 (火)

○ 主要課題の検討 ○ 将来像、基本方向、目標等の検討
○ 市民アンケート結果報告

③10/24 (金)

○ 都市マス改定の論点整理 ○ 主要課題の検討

④11/27 (火)

○ 主要課題の検討 ○ 将来像、基本方向、目標等の整理
○ 分野別方針の検討

関係機関との意見交換

H31.1～8月
(数回を予定)

○ 主要課題の整理 ○ 分野別方針の検討 ○ 素案の検討

○ 素案の検討